

こうえきざいだんほうじん さかもとりゅうもんぶんこ

[illegible]

公益財団法人阪本龍門文庫



青少年図書室（施設）
児童図書館向きに改装された施設に地域の小学生・中学生が放課後、閲覧や貸し出しに來館。
通常、毎週水曜日の午後、夏休みと冬休みは平日の午前・午後に閉館。
図書館の業務は司書1名が対応

公益財団法人阪本館門文庫



おはなし会（青少年図書室）

1995年（H7）からボランティア団体等の協力を受け、おはなし会を月1回実施した。開始当時、近隣の
おはなし会はめずらしく、開催するたび盛況で、
利用者の増加につながった。

毎年地域の小学生の社会科見学の場所の一つに選ば
れ、施設の解説とともにおはなし会を実施した

公益財団法人阪本龍門文庫

公益財団法人教本龍門文庫



季節の行事（青少年図書館室）

1995年（H7）より、月1回のおはなし会に加えて季節ごとに行事を実施した。

文庫見学会（春）、文庫まつり（夏）、ハロウィン（秋）、クリスマス会（冬）、かるた会（新春）、毎月期クワフト教室、ポイント達成プレゼントなど、様々な工夫することでイベントへの参加が定着し、利用者増加につながった

公益財団法人 日本図書館協会

公孫樹同治十三年庚午四月立



ント引き換え、だがしやさん



56年間使用した施設をはなれ、2016年から吉野町が管理する中央公民館1階ロビーの一角で『えほんのおへや』の名称で新たにスタートした。

活動に変わりはないものの、使用できるスペース（約4畳半）に限りがあったため、絵本に特化して排架し、貸し出しを実施

公共財理論と都市環境政策



新学期には施設見学を目的に、遠方からバスでこども園の園児（3,4,5歳児）が来館し、選書や貸出しを体験した後、おはなし会を実施

公益財団法人阪本龍門文庫



地域のことも図と連携し、園児と交流する機会を頻繁にもつことで、帰宅後の園児が安心して来館することができ、幼児の利用者の増加につながっている。



会場において『龍門文庫展』とともに『こどもライブラリー』子どもの居場所としている。文化祭に訪れる市民がライブの良い機会となって、読書活動が深まることを期待している。

數額亦有限。至於本國經濟狀況，則可參見本國之經濟狀況。



2015年（H27）から地域の子育て育所に
蔵書（児童書約500冊）を持ち込み、図書
の貸出、おはなし会、だしがやさん、季節
ごとのイベントを実施。
年間利用者数延べ約1,000名、利用冊数約
1,200冊があり放課後の時間を多少とも読
書に充てることができている



小とくても目標を持つことで
次へのステップにつながるよ
学期毎にポイント交換のため
んを実施。また、小学校卒業
読書冊数に達した児童を表彰
贈っている



利用者である子どもと保護者が、様々な行事に参加することで、異年齢の子どもが互いを思いやり、つながり、楽しむためにルールを行うことを自然に学ぶ機会になればと考え、季節感のある行事を実施している。こどもライブラリーは、出会う機会が少なくなった保護者同士が、子どもを待つ時間を利用して、多岐にわたる情報の交換や、コミュニケーションをする場となっている。



公益財団法人阪本龍門文庫



心ばかりのプレゼントを用意している。

